新潟県臓器移植推進財団だより No.6



[個人会員]

相田捷三、会田恵、相羽俊明、青柳孝一、青柳孝始、浅野顕子、浅野純子、阿部健博、阿部俊幸、阿部美和子、阿部道行、新井健央、新井礼子、 荒川正昭、荒川正寛、荒川桃代、荒海高裕、淡路しおり、安齋久恵、安中憲一、井浦佐敏、五十嵐茂義、五十嵐務、五十嵐智理、五十嵐均、 池田恒子、池田正友、石井法子、石川久雄、石沢成実、石田賢一、石田芳英、石塚聡子、石附由美子、石橋弘光、石平悠佳、石山邦彦、市川健太郎、 市村清貴、逸見幸恵、伊藤和彦、伊藤寛隆、伊藤泰夫、稲月原、井上幸直、伊野正広、猪俣路子、今井昭雄、岩尾秀海、岩佐正、岩田和雄、 岩田玲子、上田恵理子、上田潤、上原伸、宇賀治富雄、薄田芳丸、内山聖、内山陽子、浦上修啓、江川文子、江畠貴志、大岩繁、大方みずほ、 大倉憲吾、大島晃、大関洋子、太田昭子、大滝寛、大竹友、太田隆、大津裕、大塚孝江、大西英子、大橋健次、大原峰夫、大湊八郎、小熊美智子、 小田潤、小野新一郎、小野裕子、恩田昇治、笠原至、笠原恵子、片桐憲治、片桐幹雄、勝見秀也、加藤治、加藤淳一、加藤千栄子、金井克博、 金沢里美、金子よう、樺沢清文、樺澤禮子、神蔵勝雄、亀山繁樹、鴨井馨子、鴨居佳子、柄沢昌子、川瀬良子、神田郁美、神田純一、菊地直和、 菊地正明、菊池雅晴、木村陽一、久我三栄、草間達雄、葛野イツ子、久住由和、熊倉眞、桑原一行、下条文武、小池シヅエ、古泉徹、小出千秋、 小坂正一、小島美春、小島美世、小林幸一、小林進一郎、小林孝、小林麗子、小原芳子、小松雅美、小山歌子、近寅彦、昆信芳、齊藤京子、 齋藤忍、斎藤恒利、斉藤啓行、斎藤有子、酒井一夫、坂井克一郎、酒井信治、酒井則廣、坂井宏子、坂上りい子、寒河江一雄、坂本敏市、佐久間智子、 櫻井明子、佐々木繁、佐々木隆、佐藤一明、佐藤賢治、佐藤幸示、佐藤純、佐藤眞吉、佐藤達夫、佐藤富雄、佐藤将臣、佐藤まゆみ、佐藤真理子、 佐藤裕美、設楽修、品田健吉、篠川和夫、篠田和博、柴山敦子、澁谷有子、清水浩、下村宣子、新保信夫、神保和男、須貝欽也、杉本智子、 鈴木昭、鈴木一恵、鈴木孝幸、鈴木知宏、鈴木裕介、須藤祐悦、角谷文祐、清田義和、清野晴美、関崎桂、関田浩之、関谷啓太郎、関谷春男、 相馬幸恵、田井英子、高井昭三、高木不退、高津みさ子、高徳幸男、高野美奈子、高橋恒雄、高橋哲朗、高橋昌利、高橋勝、高宮治生、滝澤喜美子、 武正義、竹内有子、武田啓治、武田さち江、竹山希、田崎充子、田中一史、田中勝治、田中新一郎、田中晋、田中園子、田中政則、田辺悦子、 谷川隆朔、田村芳昭、塚田和子、栂野光雄、堤清次、燕紀子、坪井明里、戸井田一美、当摩隆、遠山潤、遠山典子、遠山重夫、外川八洲雄、 長尾政之助、長尾まゆみ、中川邦夫、中川悟、中川美花子、中沢妙子、長沢和彦、長沢京子、長沢忠雄、中島徹、永瀬吉彦、中杖智子、 中富豊、中村永大、中村勉、中村敏子、中山久雄、名古屋利夫、梨本智子、夏見信行、成田靖子、難波彰司、難波秀道、西潟幸江、西沢稔、 西村義孝、西脇京子、新田公子、新田はる香、橋本薫、長谷川浩司、羽田野正夫、初野弥一、羽生修吾、羽生まり子、早津敏彦、速水梅子、半間達也、 平石信一郎、平岡弘子、平沢由平、平山良和、笛田孝明、深川満俊、福居憲和、福田修、星野正則、星野眞澄、星野雪彦、星山圭鉱、細野純子、 細海幹人、堀川裕貴子、本間武、本間宏志、前山佐麻里、真島和徳、松田花織、松田英伸、松村進、松元寿、丸山敏男、丸山仁、丸山優美、 三浦智子、三浦則子、光永喜衛、皆川陽子、峯岸希一、宮川創平、宮下晴美、武藤謙介、武藤昭三、百都政弘、森下英夫、森平仁、諸原誠、 八木滋、矢澤美義、矢田省吾、柳京三、山口秀子、山﨑理、山﨑雅司、山添幸子、山田正樹、山田学、山田洋子、山本栄子、山本和男、山本正、 山本正男、湯浅保子、湯田洋志、横山正明、吉井友佳、吉崎麻友子、吉田修、吉田和清、吉田達夫、吉田法子、吉田博昭、吉田寛子、吉田正嘉、 吉田陽子、若林雅、涌井知恵、渡邉二夫、渡邉和子、渡辺和仁、渡辺武、渡邊直純、渡辺勝、渡辺美智子、渡部透 ※匿名希望3名

個人会員 339名 計 610,000円

[法人会員/医療機関]

青池メディカルオフィス、糸魚川総合病院、大熊内科医院、大森内科医院、桶谷医院、小千谷さくら病院、下越病院、刈羽郡総合病院、木戸病院、小林内科医院、こんの脳神経クリニック、済生会 三条病院、済生会 新潟第二病院、齋藤内科・消化器科医院、佐藤医院、佐藤クリニック、佐渡総合病院、三条総合病院、上越総合病院、信楽園病院、水原郷病院、立川メディカルセンター、知命堂病院、椿田医院、富永草野病院、豊栄病院、長岡赤十字病院、長岡中央綜合病院、中条病院、南部郷厚生病院、南部郷総合病院、新潟こばり病院、新潟南病院、新潟臨港病院、新潟労災病院、西川内科医院、西蒲中央病院、脳神経センター阿賀病院、早川小児科クリニック、麓会 麓病院、ほり内科医院、舞平クリニック、松田眼科医院、三島病院、渡辺内科医院

法人会員(医療機関) 45団体 計 604,000円

[法人会員/企業・団体]

(株)アイメドテック、(株)アド・メディック、荒川ライオンズクラブ、糸魚川病院 腎友会、(株)ウオロク、越後吉田ライオンズクラブ、小千谷腎友会、小千谷ライオンズクラブ、下越病院 腎友会、柏崎ライオンズクラブ、刈羽ライオンズクラブ、健康医学予防協会、佐渡腎友会、三条市医師会、三条腎友会、山東腎友会、山北徳友会、ジェイメディカル(株)、上越医師会、上越市立 頸城中学校、聖籠ライオンズクラブ、十日町市中魚沼郡医師会、十日町腎友会、直江津ロータリークラブ、長岡蒼柴ライオンズクラブ、ながおか医療生活協同組合、長岡柏ライオンズクラブ、長岡市医師会、長岡市薬剤師会、長岡悠久ライオンズクラブ、長岡ライオンズクラブ、(株)ナルス、新潟医療技術専門学校、新潟大野ライオンズクラブ、新潟県医師会、新潟県栄養士会、新潟県介護老人保健施設協会、新潟県看護協会、新潟県歯科医師会、新潟県腎臓病患者友の会、新潟県接骨師会、新潟県薬剤師会、新潟県薬事工業会、新潟県臨床検査技師会、新潟県労働衛生医学協会、新潟市医師会、新潟信用金庫、新潟青陵大学、新潟セントラルライオンズクラブ、新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野、新潟千歳ライオンズクラブ、新津荻川ライオンズクラブ、ニブロ(株)新潟支店、(株)広川製作所、富士タクシー(株)、扶桑薬品工業(株)、(株)ブルボン、舞平腎友会、見附市南蒲原郡医師会、源川医科器械(株)、南魚沼腎友会、六日町ライオンズクラブ、村上市岩船郡医師会、村上腎友会、弥彦ライオンズクラブ

会員(企業・団体) 65団体 計 790,000円

寄付金 20件 計 1,050,270円

※中外製薬(株)様より500,000円、ノバルティスファーマ(株)様より500,000円のご寄付をいただき、また新潟県ライオンズ・アイバンク協議会様より200,000円の指定のご寄付をいただきました。

財団法人 新潟県臓器移植推進財団

〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1 新潟県庁12F 健康対策課内 TEL·FAX:025-283-4880 ホームページ http://www.niigata-ot.net





新潟県臓器移植推進財団だより

平成21年8月発行 財団法人 新潟県臓器移植推進財団

ホームページ http://www.niigata-ot.net

一臓器移植はあなたの意思をつなぎます一

新潟市中央区新光町4番地1 (新潟県福祉保健部健康対策課内)TEL:025-283-4880

発行人: 荒川正昭

献腎移植を 正しく理解して いただくために



当財団 理事 甲田 豊(新潟県透析医会 会長)

腎移植は、腎不全治療の中でも極めて質の高い治療効果を提供します。そのため、ほとんどの腎不全患者さんが透析を開始した時から待ち望む治療でありましょう。二十数年前に登場したシクロスポリンという免疫抑制薬は、当時、心臓や腎臓などの移植現場を刷新する画期的なものでした。私がそのころ主治医となった移植患者さんの回復は驚くべきものがあり、私はこの時、腎移植は間もなく飛躍的に増加し、近い将来に血液透析に替わる治療になると確信しました。しかし、実際はそう簡単な道のりではなく、行きつ戻りつのプロセスをたどり、現在でも突破するに決して容易でない壁に当たっています。

日本ではしばしば海外渡航移植が報じられます。海外渡航移 植は同情を集める反面、内包する問題の本質を突いた報道はなさ れません。過去には募金方法や使途に不透明な点を指摘された り、誤解を受けたこともあります。また、近年は受け入れ国から も日本からの患者を制限され、WHOから国内移植を指導される など、決して望ましいものではありません。日本には移植する技 術力も経済力も十分あるにもかかわらずです。脳死に対しては、 宗教的、文学的、政治的、医学的など、それぞれの立場で多様な見解はあるべきです。しかし、過去も現在も科学 対 感情の論争 を調整できずにいます。これらは本来、同じ視点に立てないものです。医学者が自ら経験し組み立てた科学は、取材知識で構築した権威的な評論家の説に十分な反論ができませんでした。移植医療にとって、さらに長い年月が失われたように思われます。しかし、常に検証される科学ほど正確で信頼性の高いものはなく、医学的見解は科学として毅然と提示されるべきと考えます。

現在、「臓器提供意思表示カード」という臓器提供意思表示システムがあります。かつては、家族の署名、印鑑も必要という、重々しいほど厳格なことが行われた時期もありました。本年は意思表示カードが不要となるような法案が成立するかもしれません。しかし、例えそれが成立したとしても、誤解と不信はまだ存在し続けるでしょう。健康な人を傷付けることがなく、誰にも公平な受臓器機会が与えられ、海外渡航移植をしなくてもよいような臓器移植を、どうやって正しく理解してもらうか、まだこれからも積み上げるような努力が必要に思われます。

臓器移植について考えませんか?

臓器移植フォーラム2009 in新潟

参加費は無料です。ぜひご参加ください。

日時 10月4日(日) 13:30~16:00

会場 新潟県民会館 小ホール (新潟市中央区一番堀通町3-13)

- 内容 移植体験者発表
 - 講演
 - アトラクション
 - 移植専門医などによるトークステージ

[主催]新潟県、新潟県臓器移植推進財団 新潟県腎臓病患者友の会、新潟肝膵小腸 移植研究会

PC・携帯電話からも、あなたの意思を登録できます

(社)日本臓器移植ネットワークのホームページで、臓器提供に関する意思を登録できるようになりました。

ホームページ

http://www.jotnw.or.jp

モバイルサイト

http://www.jotnw.or.jp/m



確実な提供意思の確認のため ぜひ登録をお願いします。

グリーンバッチ運動にご協力ください



グリーンバッチのモチーフは絡み合った枝。ギフトオブライフ(命の贈り物)によって結ばれたドナーとレシピエントという、二つの生命のつながりを表しています。パッチが多くの人の胸に付けられることで臓器移植に対する理解が広がっていくことを願っています。パッチは100円以上のご寄付をくださった方へお渡ししています。関心を持たれた方は当財団までお問い合わせください。